

教育情報通信ネットワーク機器賃貸借契約仕様書

第1章 総則

第1節 賃貸借物件等

(1) 物件名、数量及び納入場所

①物件名 : 資産管理・ヘルプデスク支援システム用サーバ・・・・・・・・1台

納入場所: 生涯学習センターサーバ室 (明石市東仲ノ町 6-1 アスピア明石北館 9 階)

②物件名 : クライアント機・・・・・・・・2台

納入場所: 明石市情報管理課 (明石市中崎 1 丁目 5-1 明石市役所 8 階)

第2節 納入期限

令和 5 年 1 月 31 日を納入期限とする。

上記期限までに搬入据付・調整及び動作確認テストを終了し、あかし教育研修センター情報化推進担当の承認を得ること。

第3節 賃貸借期間

令和 5 年 2 月 1 日から令和 10 年 1 月 31 日まで (60 か月)

・賃貸期間満了後の機器等については、市へ無償譲渡すること。

第4節 既存機器の撤去

導入作業期間中において、クライアントディスプレイを除く以下の既存機器を撤去したうえで、HDD のデータを消去し、データ消去証明書を提出すること。費用は本調達に含むものとする。

- ・サーバ機 (日立製: HA8000/RS210AN2 ラックマウントタイプ、ディスプレイ/キーボードユニット (HITACHI GQ-SRLK7250J) を含む) 1 台
- ・UPS・UPS バッテリ (APC 製) 1 台
- ・NAS (I-ODATA 製: HDL2-AH6.0W) 2 台
- ・L2 スイッチ (ELECOM 製: EHB-SG2B08) 2 台
- ・クライアント機 (HP 製: L1Q39AV-BHVS) 2 台
- ・キーボード・マウス 各 2 個
- ・その他不要な付属品 1 式

第5節 生涯学習センターへの物品搬入

- ・生涯学習センターは商業施設が入居しているビルの 7～9F に位置する。そのため、物品の搬入日程については、市の指示するところによる。(搬入時刻については、商業施設営業終了後の 20 時以降の可能性もある。)
- ・搬入経路は市の指示するところによる。

- ・搬入時には、建物、施設等を破損しないような措置を施すこと。

第6節 その他

- (1) 受注業務の実施に当り、実施計画（要領）書（施工体制、緊急連絡表、工程表）を提出すること。
- (2) 実施計画（要領）書提出後、速やかに施工計画書（概要、工程計画、品質管理計画、写真計画、調整計画、検査計画、安全管理計画、作業時間、廃棄物処理計画）を提出し、市の承諾を得た後着手すること。
- (3) 契約約款で定める「秘密の保持」ほか、市が特に秘守性が高いと認める業務（以下「秘守業務」という）を処理する場合（概ね下記の業務）、その漏洩防止の計画書を作成し、業務開始前に市の承諾を得なければならない。
 - ① 個人情報を集中管理するシステムの構築、設定に関する業務
 - ② 情報ネットワーク機器の構築、設定に関する業務
- (4) 前項の計画は、秘守業務の範囲と作業分担、携わる作業員の教育、作業員及び業務の管理について定めること。
- (5) 第2章、第3章の機能要求を元にして、システム設計を行い、機種、形式等を選択し、市の承諾を受けること。

第2章 システム構築要件

第1節 資産管理システムの移行および構築

- (1) 資産管理機能
管理物品（パソコン・ソフトウェア等）の機器構成、設置先などの情報を管理するためのデータベースを構築する。
- (2) 管理項目の自動収集機能
機器構成等の管理項目については、自動収集を行う。（伝送経路は既存の明石市地域イントラネット網等を利用すること。）
- (3) 現行で稼働している QND Standard を移行構築すること。
- (4) 設定パラメータシート、操作マニュアル、OS 設計書、バックアップ設計書、各種手順書を提出すること。

第2節 ヘルプデスクシステムの移行および構築

- (1) ヘルプデスクの支援機能
現在稼働しているヘルプデスクシステム（ActionRequestSystem）を導入し、バージョンアップを実施する。各学校からの問い合わせ、障害の受付、履歴の蓄積に対応するためのデータベースの移行構築を行い、問い合わせや障害に迅速に対応できる環境を整備する。
- (2) 基本要件
 - ① 現在稼働しているヘルプデスクシステム ActionRequestSystem で蓄積されたデータ及び

現在利用している機能を全て引き継いで使用できるよう構築すること。(添付されているファイルも全て移行させる機能を有すること)

- ② データベースについては **Microsoft SQL Server 2019 Standard** を利用するものとする。
現在稼働しているデータベース **Microsoft SQL Server 2014 Standard** から移行構築を行い、現行システムと同一機能・同一データを担保すること。
 - ③ 現在稼働しているヘルプデスクシステム **ActionRequestSystem** の機能・GUI を引き継いで利用できるように移行構築すること。
 - ④ 機器及びソフトウェアが正常に動作するための必要経費は全て入札金額に含めること。
 - ⑤ システム利用者はユーザアカウントによるアクセス制御が可能なこと。
 - ⑥ データ入力時、**Enter** キーなどで関連項目を自動セットできる、入力支援機能を持たせること。
 - ⑦ データをインポート・エクスポートできること。
 - ⑧ データ部の定期バックアップが自動化されていること。
 - ⑨ 管理者用 **5** ライセンスを調達し、本費用に含めること。また、管理者が入力項目を追加できること。
 - ⑩ 各案件報告書を単票印刷・一覧印刷できること。
 - ⑪ 参照ビューアが無制限ユーザで使用できること
- (3) 現行で稼働している **ActionRequestSystem** を移行構築する際は、構築期間中に並行期間を設けながら、業務に支障が生じることがないように現保守業者と連携し、作業を行うこと。本仕様書に記載されていない現行 **ActionRequestSystem** の機能全般については、現行プログラムを解析し、現在利用している機能が、移行後に利用できない状況にならないように、現行と同一の機能を担保すること。また、**ActionRequestSystem** は Ver 間の製品仕様差異の可能性があるので、現行システムの機能・利用環境を確認・理解し、必要な経費は全て入札金額に含めて入札に参加すること。
- (4) 各情報の管理項目名、項目の属性（データ型、データ長等）について容易に変更が可能であること。
 - (5) レポート作成機能やエクセルで利用できる形式への出力が可能である等、各情報の抽出・分析が行えること。
 - (6) ブラウザからの問い合わせ・障害情報の検索が可能であること。(全ての使用者を対象外とし、容易な操作で検索が可能となるよう配慮したものであること。)
 - (7) レポート作成機能やエクセルで利用できる形式への出力が可能である等、問い合わせ・障害情報の抽出・分析が行えること。(情報入力端末で利用可能。)
 - (8) 設定パラメータシート、操作マニュアル、OS 設計書、バックアップ設計書、各種手順書を提出すること。

第3節 ウイルス対策ソフトの導入

(1) ウイルス対策ソフトの導入

各学校のサーバ、クライアント機にウイルス対策を行う。

(2) 一括更新機能

ウイルス対策ソフトのパターンファイル等の更新等については、生涯学習センター等から一括して行う。(伝送経路は既存の明石市地域イントラネット網等を利用すること。)

(3) 現行で稼働しているウイルスバスターApex One を最新バージョンへ移行構築すること。

(4) 設定パラメータシート、操作マニュアル、OS 設計書、バックアップ設計書、各種手順書を提出すること。

第4節 セキュリティ更新ソフトの導入

(1) セキュリティ更新ソフトの導入

各学校のクライアント機にセキュリティ更新プログラムの適用等を行うための Windows Server Update Services (以下 WSUS) サーバを移行すること。

(2) 対象機器

WSUS の対象となる機器は、各学校のクライアント機器とし、サーバ機は対象外とする。クライアント側に必要な設定を実施すること。

(3) 設定パラメータシート、操作マニュアル、OS 設計書、バックアップ設計書、各種手順書を提出すること。

第5節 機器設置等

上記の整備を行うため、生涯学習センター及び市役所に必要な機器を設置すること。

(1) サーバの設置等

生涯学習センターの既設 19 インチラックへ搭載すること。

また、システム構築にあたり当該ラック内の既存外付け HDD 内のデータ移行を行うこと。

(2) 構内伝送路の整備

生涯学習センターに既存の明石市地域イントラネット網等と接続するための構内伝送路を設け、ネットワーク接続の設定調整を行うこと。

(3) 情報入力クライアントの設備

明石市役所 8 階情報管理課に情報入力用クライアントを 2 台設置し、構内伝送路及び明石市地域イントラネット網等により生涯学習センター設置のサーバと接続し、システム稼働に必要な設定調整を行うこと。

(4) 学校での調整作業

- ・本章に記載する機能要求を満たすため、各学校において必要な調整作業を行うこと。また必要に応じ都度現地対応すること。
- ・調整の内容、作業日程等については、市と協議し承諾を得ること。
- ・学校における既設コンピュータ等の調整については、当該機器の保守を行う業者と調整の上行うこと。

第3章 導入機器仕様

第1節 サーバ仕様

- ・第2章に記載する機能要求を満たす一組のサーバを生涯学習センター9F サーバ室に設置すること。
- ・1台の物理サーバで、本システムで利用する仮想サーバとして4台以上で実装すること。
- ・サーバは、既設 19 インチラックマウントに収納できるラックマウントタイプとすること。
既設 19 インチラック：(日立製作所製：型名 GH-RK7385)
- ・サーバの仕様については、以下の通りとする。

項 目	名称／条件
OS	・ Windows Server 2022 Standard
CPU	・ インテル Xeon Silver 4214R (コア数 12、ベースクロック 2.40GHz) 1 プロセッサ以上
ディスプレイ	・ VGA ポート (ラックマウントタイプ、キーボード、タッチマウス付)
メインメモリ	・ 96GB (1Rx4 PC4-2933Y-R Smart メモリキット) 以上
HDD 容量	・ SAS 12Gbps 1.2TB [10krpm] 2.5 型 ×5 (リザーブ 1 台含む) 以上 ・ RAID5 構成 ・ 論理容量 3.0TB 以上
光学ドライブ	・ 9.5mm SATA DVD-ROM ドライブ (外付けも可能とする)
インターフェース	・ RJ-45 (1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T) ×4 以上 ・ USB3.0×5 以上 ・ ディスプレイ(VGA ポート)×1 以上
付属品	・ ラックレール 既設 19 インチラック搭載用 (搭載に必要な金具や作業等を含む。ただし既存レールに搭載できる場合は流用可能とする。)
拡張スロット	・ PCI-Express3.0(x16) ×1、PCI-Express3.0(x8)×1
その他	・ 機能を発揮するに必要なもの
ServerCAL	・ クライアントアクセスライセンス 3025 本 (デバイス CAL) を用意すること。 ※最新のライセンスを調達すること。また当該費用は本調達に含むこと。(教育機関向けも可)

- ・設定内容は、現行システムと整合を保ち、内容については市と協議し承諾を得ること。
- ・UPS を導入し、停電補償を行うこと。停電補償は 10 分以上とし、それを超える停電の場合、自動的にシステムを安全に停止させること。復電時も自動でシステムが起動できること。UPS 管理ソフトを使用すること。

- ・バックアップ機能を有すること。
- ・リモート接続認証機能を有すること。
- ・データ保存用の HDD 交換可能な NAS を用意すること。論理上 4TB 以上 (RAID1)、ラックマウントタイプ／据え置きどちらでも可とする。据え置きタイプの場合、棚板を設置し、耐震ベルトで固定すること。(本調達に含む)
また、バックアップ／リストアソフトウェアを導入すること。
- ・生涯学習センター 9 F サーバ室内のサーバ機器を接続する LAN-SW へ Cat5e ケーブルで接続すること。
- ・生涯学習センター 9 F サーバ室内はスイッチングハブで接続すること。必要なスイッチングハブは本調達に含む。

第2節 情報入力クライアント仕様

- ・明石市役所 8 F 情報管理課内に情報入力クライアント機（デスクトップ）2 台を設置すること。
- ・情報入力クライアント PC の仕様については、以下の通りとする。

項 目	名称／条件
OS	・ Windows® 10 pro 64bit (Windows11 Pro ライセンス含む)
CPU	・ Intel Core i7-12700 プロセッサ（コア数 12、周波数 2.1GHz - 4.9GHz）以上
ディスプレイ	・ マルチディスプレイ 23.8 インチワイド以上 ・ 最大表示解像度 1920×1080 以上 ・ 情報入力クライアント機 1 台につき、2 台接続できること ・ 接続用 4 台と予備用 1 台の計 5 台を用意すること
メインメモリ	・ 16GB 以上
ストレージ容量	・ SSD(NVMe) 1TB 以上
光学ドライブ	・ DVD Super Multi ドライブ
サウンド機能	・ スピーカーを内蔵のこと
マウス	・ 光学式マウス（スクロール機能付）
キーボード	・ 日本語キーボード（JIS 配列準拠）で 81 キー以上あること ・ テンキー付きであること（外付けタイプの導入は不可）
インターフェース	・ RJ-45（1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T）を装備すること ・ USB 3.2 Gen1 ×4 以上、USB 2.0 ×2 以上
ソフトウェア	・ Office LTSC Professional Plus 2021

- ・情報入力クライアント機 2 台のその他要件については、以下の通りとする。

ActionRequestSystem、QND Standard コンソールをインストールし稼働させること。
学校の校内ネットワークにリモート接続できること。

第4章 保守

第1節 導入機器のハードウェア保守 5年間

(1) サーバ保守

5年間 当日オンサイト（平日 8時-19時:到着 4時間以内目標）とする。

(2) UPS 保守

5年間 当日オンサイト（平日 8時-19時:到着 4時間以内目標）とする。（バッテリー交換 2回分を含むこと）

(3) 情報入力クライアント PC （液晶ディスプレイ含む）

5年間 翌日オンサイト（平日：9：00 ～ 17：00）（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

第2節 導入したシステムの稼働維持保守 5年間

- ・以下のバージョンアップ作業を実施すること

WSUS : 1 回程度/年

QND Standard : 2 回程度/年

ウイルスバスター：1 回程度/年

OS の修正モジュール適用 （緊急及び障害時のみ）

- ・問い合わせ及び障害対応

5年間（平日：9：00 ～ 17：30）（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

第3節 導入ソフトウェア保守

5年間（平日：9：00 ～ 17：00）（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

ActionRequestSystem 製品保守、バックアップソフト製品保守を含めること

(1) ソフトウェアのバージョンアップ作業

(2) ソフトウェアの技術的なサポート

(3) 障害発生時のオンサイト対応

(4) セキュリティパッチ等の適用作業（発注者・受注者協議の上、必要であると判断したもの）

(5) 上記作業によるドキュメント修正作業